

1	公開授業実施日時	2018年1月24日（水） 10:30～12:20
2	場所	京都教育大学附属高等学校 図書室
3	対象	2年1組（高校2年生）40名
4	授業者	佐古 孝義
5	島名	グローバル・エシックス
6	単元名	グローバル英語Ⅱ 「グローバル・イシュー 国際貿易について」
7	関連する教科・領域	英語科／現代社会科
8	単元の目標・ねらい	国際経済の観点から見たグローバリゼーションが引き起こす問題について、貿易ゲームを英語で行うことで考察を深め、その考察の結果を英語で発信する。
9	グローバル・スタディーズとしての目標・ねらい	<p>① 〈パラグラフ・ライティング〉の基本的フォーマットに則って、自分の考えを論理的に英語で書く</p> <p>② 「貿易ゲーム」を通じてグローバリゼーションの現状を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化した社会の現状を読み解き、課題を多元的な視点から捉えることができる。 ・他者との言語や文化の違いを調整することができる。 ・平和、寛容、包摂、人権等の価値観を踏まえて批判的に思考、判断することができる。 ・グローバル社会の課題の解決方法を構想し、自ら解決に関わろうとすることができる。
11	単元の評価規準【教科・領域として】	〈パラグラフ・ライティング〉の基本的フォーマットに則って、自分の考えを論理的に英語で書くことができたかを英文エッセイによる事後まとめで評価する。
12	単元の評価規準【グローバル・スタディーズとして】	<p>1) 貿易を中心とした世界経済の基本的な仕組みについて体感を通じて理解する</p> <p>2) 自由貿易や経済のグローバリゼーションが引き起こす問題について、主体的に気付く</p> <p>3) 2) で発見された問題に対して、国際協力・国際親善という観点から一人一人の行動のあり方について内省することができたかを、①ゲーム前に事前課題（国際貿易の現状と問題点についてのレポート）②ゲームのふりかえりシート③英文エッセイによる事後まとめで評価する。</p>

13	単元計画	国際貿易について書かれた英文テキストを読み、現在世界で生じている国際貿易に関する問題を一つ以上取り上げ、内容をまとめる。 (第1時) 「貿易ゲーム」の実施 ルール説明、交渉などは全て英語で行う。 (第2時) 「貿易ゲーム」についてのふりかえり (第3～4時) 1) グローバリゼーションが引き起こす諸問題についての考察 (グループでの意見交換) 2) 国際協力・国際親善という観点から、自身のこれからとるべき行動や姿勢について考えをまとめ、パラグラフ・ライティングの基本的なフォーマットに則って300 words程度の英文で表現する
14	本時の目標	上記 単元の目標と同じ
15	本時の展開	《別紙指導案を参照》
16	グローバル・スタディーズとしての特徴	グローバリゼーションの問題をゲームを通じて体感的に学ぶことができる。同時に、ゲームの中で行われる交渉で実際に英語を使用することで、実践的英語運用能力も高められる。
17	授業者から一言	事後のエッセイでは、生徒たちは様々な国際問題をテーマとして織り上げ、深い考察を行っていた。今後の課題は、「英語」の授業での評価を同行ってゆくか、という点である。

外国語科 学習指導案

京都教育大学附属高等学校

佐古 孝義

1. 日 時：1月 24 日（水）3限（10:30－11:20）4限（11:30－12:20）

2. 場 所：図書室

3. 学年・組：2年1組 40名

4. 使用教材：

①『Vision Quest English Expression II』（啓林館）検定教科書 Part 2

②『改訂版 新・貿易ゲーム 経済のグローバル化を考える』（開発教育学会・かながわ国際交流財団）

5. 単元名：

①まとめた文章〈パラグラフ〉を書く

②「貿易ゲーム」を通じてグローバリゼーションの現状を知る

6. 学習目標：

①Can-Do リストによる整理は以下の通り

Writing	Speaking	Listening	Reading
<p><input type="checkbox"/> 主題文・指示文・結論文からなるパラグラフ構成を理解して書くことが出来る。</p> <p><input type="checkbox"/> 列挙・順序・対比・類似・例示・追加・原因・理由および結果などを表すさまざまな Discourse Marker を使って書くことが出来る。</p>	<p><input type="checkbox"/> 交渉などの即興のやり取りを通じ、自分の意見を、相手との折衝の中で論理的に構成して話すことが出来る。</p> <p><input type="checkbox"/> 原稿を基に、聴衆に聞き取りやすいように発声の仕方に気を配り、メリハリつけて発表することができる。</p> <p>特定のテーマについてグループで意見を述べることが出来る。</p> <p><input type="checkbox"/> （司会者として）特定のテーマについてディスカッションで複数の人の意見を調整しながら議論を進めることが出来る。</p>	<p><input type="checkbox"/> 交渉などの場面で、相手の意見を正確に聞き取り、理解することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 特定のテーマに沿った発表を聞き、その内容を理解することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 特定のテーマについてグループ内での発言を聞き、その内容を理解することができる。</p>	<p><input type="checkbox"/> 特定のテーマに沿った英文の資料を読み、関連する情報を集めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 特定のテーマに沿った発表の要旨を読み、その内容を理解することができる。</p>

②「貿易ゲーム」に関する学習目標

- 1) 貿易を中心とした世界経済の基本的な仕組みについて体感を通じて理解する
- 2) 自由貿易や経済のグローバリゼーションが引き起こす問題について、主体的に気付く
- 3) 2) で発見された問題に対して、国際協力・国際親善という観点から一人一人の行動のあり方について内省する

7. 指導計画：

(第0時) 世界経済が抱える問題についての予備考察

国際貿易について書かれた英文テキストを読み、現在世界で生じている国際貿易に関する問題を一つ以上取り上げ、内容をまとめる

(第1時) 「貿易ゲーム」の実施 ··· 本時(1)

ルール説明、交渉などは全て英語で行う

(第2時) 「貿易ゲーム」についてのふりかえり ··· 本時(2)

(第3~4時)

1) グローバリゼーションが引き起こす諸問題についての考察

(グループでの意見交換)

2) 国際協力・国際親善という観点から、自身のこれからとるべき行動や姿勢について考えをまとめ、パラグラフ・ライティングの基本的なフォーマットに則って 300 words 程度の英文で表現する

(第1時) 「貿易ゲーム」について

【ねらい】

① 英語学習における基本的なねらいは以下の 2 点である。

- 1) 協働による課題解決のための技能の伸張
- 2) 交渉の場面での英語力の強化

② 非常に複雑な現実世界の経済の動きを単純化・モデル化し、紙やハサミなどのどこにでもある簡単な道具を使ったゲームを行うことによって、机上の空論として受動的に教わるのではなく、学習者自らが主体的に、体感し、発見し、考え、議論する〈参加型学習〉を実現する。国際問題に関する様々な学習に向けての導入や、これまでの学習事項の再確認としても活用することが可能である。

【基本的なゲームの仕組みと流れ】

- 参加者は 5 名程度で構成されるいくつかのグループに分かれ、ハサミや鉛筆などの与えられた道具と紙を用いて〈製品〉を作り、その製品を〈マーケット（市場）〉で売って収入を得る。
- ゲーム開始時に与えられる道具や紙の枚数はグループによってその中身が異なっており、ゲームの進行に伴い、グループ間での道具や紙の取引（貿易）が自然発生的に行われ、グループ間の〈格差〉が拡大／縮小する。
- ゲーム終了後のふりかえりの時間では、ゲーム中に生じた様々な事象を確認し（その事象が現実世界ではいったいどのような現象を表しているかについても議論する）、その原因について考察を深めることを通じ、現実の世界経済の仕組みと問題点について理解することができる。

【ゲームの進め方】（配布プリント Worksheet(1) 参照）

●ルールを説明する

授業者（Leader）は以下の内容を参加者に対して読み上げ、配布プリントで確認する。

- 「各グループの目標は、渡されたものを使って、自分たちのグループができるだけ多額の

お金を稼ぐことがあります。お金は、紙を切って製品を作り、〈マーケット〉でバンカー（Banker）に売ることによって得られます。製品の型と価格は配布したプリント及びディスプレイに示された通りです。」

- ・ 「ゲーム中はいかなることがあっても暴力を用いてはいけません。」
- ・ 「ゲームの途中で何か困ったことが起きた場合には、グループで相談して解決してください。うまくいかない場合は、チームの代表が私（Leader）の元まで相談に来てください。」
- ・ 「他グループのメンバー、バンカー、リーダーと話すときは英語のみを使用すること。」

●ゲーム進行上の注意

- 各グループが異なった組み合わせの道具／紙の枚数が与えられていることをあらかじめ参加者に伝えてはならない。
- ルールの説明の際には「何か質問はありませんか？」と尋ねてはいけない。「渡される袋の中身は同じか？」「取引をしてよいか？」などという質問や、「ハサミを貸してもらえませんか？」と言った要望には応えず、「グループのメンバーと相談してください」とだけ返答すること。
- ルール説明（配布プリントも含む）、バンカーとの会話、他グループのメンバーとの交渉は全て英語で行うことを徹底する。

●ゲームの進行に変化を引き起こす仕掛け

授業者（Leader）はゲームの進行状況を観察して、以下のような仕掛けを行う。これらの仕掛けはいずれも現実世界で起こっている出来事を表していることに「ふりかえり」の時間で気付かせる。

□ 〈製品〉の価格の変動

C～以降のグループ（新興国～開発途上国）が製品を生産する状況が生じ、ある製品が大量に作られたりするようになると、その型の製品の価格を下落させる。
→自由主義市場では需要と供給の関係で価格が変動することを意味する。

□ バンカーによる〈製品〉のチェックの厳しさに差をつける

各グループが持ってきた〈製品〉の買い取りに関して、規格に適合しているかのチェックを、A,B（先進国）に対して甘く、それ以外に対して厳しくする、という具合に差をつける。

→いわゆる「ブランド品」の優位性や市場への新規参入に厳しさを意味する。

□ グループG/H（後進国）への援助を行う

ゲームの後半になっても〈製品〉を作ることができないグループに対して、ハサミや定規を貸し出すなどの援助を授業者（Leader）が行う。援助内容に差を設ける。あるグループには資金、あるグループにはハサミ、また別のグループはホッチキス（など〈製品〉を作る上では意味のない道具）を貸し出す、などバリエーションをつける。

→道具や資金は、国際機関からのODAなどの援助を意味している。資金援助と技術援助（指導）のいずれが効果的か、を考える材料になる。またホッチキスなどは「現地のニーズを無視した援助」を含意している。

□ 紙を追加する（主に後半のグループに対して）

→新資源の発見などを意味する。

□ 〈製品〉の新しい型（規格）を導入する

→新しい技術や産業の発展、消費者のニーズの変化を表す。

（第2時）「貿易ゲーム」についてのふりかえり（配布プリント Worksheet(2) 参照）

1. ゲームの設定についての考察

1) 南北格差 North-South economic disparity

自分のグループの初期設定について確認させ、他のグループと比較させることによって、〈格差〉が存在することに気付かせ、それが〈国力〉を含意していることを理解させる。

ハサミや鉛筆、分度器、定規などは〈技術〉を、紙は〈資源〉を表していることも確認する。ゲーム途中でカッターナイフを導入すると、〈新しい技術（革新）〉を含意させることができる。

（各テーブルに敷かれた新聞紙は〈環境〉を表しており、カッターナイフのような新技術は便利である一方、環境に対する負荷が大きいことも生徒たちに気付かせる、という仕掛けを作る。）

各グループの設定については以下のとおり。

- A, B グループ 〈先進国〉 developed [advanced] countries

A は道具も紙も豊富にあることから〈技術〉も〈資源〉も豊富な「アメリカ」、対して B は、道具はあるが紙が少ないので、〈技術〉はあるが〈資源〉に乏しい「日本」という設定上の差を設ける。

- C, D グループ 〈新興国〉 emerging countries

一般的に先進国と比較して経済発展が後発で、今後特定の条件を満たすことができれば高い成長が見込める諸国。代表格は BRICS（ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ）。限られた道具=〈技術〉と豊富な紙=〈資源〉という設定。

- E, F グループ 〈開発途上国〉 developing countries / less developed nations

C, D よりも道具=〈技術〉が少なく、ある程度の紙=〈資源〉がある国。次のグループとの差を理解させたい。

- G, H グループ 〈後発開発途上国〉 least developed countries

国連が定めた後発開発途上国と認定するための 3 つの基準「所得水準が低いこと」（一人当たりの国民総所得（GNI）の 3 年平均推定値が 992 米ドル以下であること）「人的資源に乏しいこと」（HAI（Human Assets Index）と呼ばれる指標が一定値以下であること）「経済的に脆弱であること」に照らして、特に開発が遅れている国を指す。道具=〈技術〉と紙=〈資源〉がともに限界まで少なく、事実上打つ手がないことを体感させる。

2) 自由貿易 free trade

このゲームの中では、どのグループも自由に製品を作り、マーケットで売ることができるという点での「自由」が原則として保持されている。これは自由貿易のごく基本的な原理であるが、まさにこの自由貿易のために、（後発）開発途上国を不利な立場に追いやり、格差の拡大を招いている、という皮肉な現象を考えさせる。自由貿易に対抗する「保護貿易 protective trade」的なアプローチや「生産者カルテル」といった現象とも併せて考えるべきポイントである。

2. ゲームの中で生じる現象についての考察

1) 〈製品〉の価格の変動に伴う対応 supply-demand balance

ゲーム途中で、たとえば分度器を手にした途上国グループ（E~H）が、それで作れる製品ばかりを作っていたときに、進行役（リーダー）がその製品の価格を大きく下げたら、どういうことが起きるだろうか？これは、上述したとおり、自由市場におけるニーズの変化に伴う製品の価値変動であるが、ある特定の製品に過剰に依存する生産方法をとっていたグループにとっては非常に大きな打

撃となる。このような生産体制は、途上国で実際に見られるプランテーションを表しているといえる。このときどんな対応をとったか（あるいは出来なかったか）について振り返らせることから、プランテーション農業の問題点を考えさせたい。

その他、前項の「ゲームの進行に変化を引き起こす仕掛け」にしたがって、以下のような様々な現象が見られるかもしれない。これらを出来る限り、ふりかえりの時間の検討材料とする。

- 2) 他のグループで作業する生徒が現われる⇒「出稼ぎ」労働 migrant workers
- 3) グループ同士の協力で製品を作る⇒国際分業 international division of labor
- 4) 他のグループに併合される⇒植民地化 colonization
- 5) 特定のグループで紙や道具の囲い込みをする⇒生産者カルテル a combination of producers of a particular resource called cartel

中でも特に注意を払いたいのは、G,H のグループ（後発開発途上国）のメンバーの心情や行動である。高い確率で彼らには何の打つ手もなく、ゲーム中に手持ち無沙汰になる。中には激情に駆られた行動を起こす生徒が現われるかもしれない。こうした生徒の感情面の変化に注目すると、テロ問題の感情的背景にも結び付けて考察することができる。テロ問題は、ともすれば宗教的な背景ばかりが注目されがちであるが、（部分的には）貧困の問題にも繋がりがある。貿易ゲームを通して、経済的側面に焦点を当てるることもできるのだ。

まとめると、本時（第2時）の目標は、
貿易ゲームという〈具体的経験〉を、これまで机上で学んできたこと〈知識・情報〉に自ら主体的に結びつけ、グローバリゼーションが引き起こしている諸問題を実感として理解することにある。

（第3～4時） 1) グローバリゼーションが引き起こす諸問題についてのさらなる考察

前時（第2時）におけるふりかえりが、あくまでグローバリゼーションが引き起こす諸問題についての「現状認識」の段階であるとすれば、本時はその問題の原因・背景にまで踏み込んだ考察を行わねばならない。とりわけ、「ゲーム中あるいはゲーム後に感じた（多くは否定的な）もやもやとした感情・違和感の原因がいったいどこにあるのか」「どうすればより多くの人が肯定的な感情を抱くことができるのか」という観点で議論を展開させたい。

こうした議論を呼び起こすきっかけとして、「2回目の貿易ゲームをするとすれば・・・」という仮定を導入することは効果的である。最初の目標設定が「自分たちのグループができるだけ多く稼ぐこと」だったことにもう一度触れ、この設定を「世界全体としてできるだけ多くを稼ぐ」に変えるとしたら、どのような展開が考えられるか、についてまず自分の意見を書かせ、次にグループで意見交換をさせる。

ここで重要な点は、彼らが感じた「『自由ではあるが（結果の）不平等な世界』がどこか間違ったものではないか」という本質的な違和感を、議論の大事な出発点として保存し続けることにある。それは、「自由でかつ『公正な』世界はどのように実現可能か」を問うことに繋がる。

自由な社会や自由主義（リベラリズム）は、通常どのような議論によって正当化されているのか？我々の知る限り最も明晰な論理的筋道でそれを教えてくれるのは、ジョン・ロールズが主著『正義論』の中で展開した推論である。ロールズは、社会に参画する成員全員が「無知のベール the veil of ignorance」をかぶった原初状態において選択される社会の形態こそが、最も正義にかなったシステ

ムであるはずだと推論した。「無知のベール」とは、社会の内部で各個人に既に与えられているあらゆる特性（資質・能力・才能・遺産など諸条件すべて）を還元・消去した状態を仮定するということである。この点について書かれた英文テキスト（配布プリント Worksheet(3) 参照）を読解し、ロールズの議論の要点（「無知のベール」の仮定から導かれた正義の 2 つの原理）を理解させる。

と同時に、「世界全体の富の最大化」を目指す経済至上主義の自由を突き詰めていくことが、環境に対する負荷、より具体的には「有限な資源の枯渇」という問題を引き起こすことも指摘する。これは、2 学期に学習した SDGs（Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）の理念、とりわけ「持続可能性 sustainability」を考えるよい材料にもなるだろう。大澤真幸が指摘する通り、今日のリベラリズム（自由主義）に対抗する最も有力な思想的課題は、環境倫理に基づくエコロジー思想なのである。

こうした点を踏まえ、本時（第 3 時）の目標は、以下の 2 点ということになる。

- ①貿易ゲームという〈具体的経験〉を通して得られた気付きをきっかけに、「自由でかつ『公正な』世界はどのように実現可能か」という問い合わせを我々の思想的論題として考える。
- ②「自由でかつ『公正な』世界」が実現可能だとして、それが「持続可能なもの」となるためにはどのような条件が必要か、という問い合わせを考える。

（第 3～4 時）2) 国際協力・国際親善という観点から、自身のこれからとるべき行動や姿勢について考えをまとめ、パラグラフ・ライティングの基本的なフォーマットに則って 300 words 程度の英文で表現する

2015 年 9 月 25 日～27 日、ニューヨーク国連本部において「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150 を超える加盟国首脳が参加し、その成果文書として「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択された。その中に、「持続可能な開発目標（SDGs）とターゲットは、各国の置かれたそれぞれの現状、能力、発展段階、政策や優先課題を踏まえつつ、一体のもので分割できない *indivisible* ものである」と明記されている。17 の目標はそれぞれ相互に連関していて、総合的な取組が必要であること、持続可能な開発を達成するためには、経済成長 economic growth／社会的包摂 social inclusion／環境保護 environmental protection という 3 つの主要素を調和させることができることが不可欠であることが強調されている。貿易ゲームを通じて、生徒たちは「経済成長と環境保護は『同時に・包括的に』考えなければいけない問題であること」「途上国で起きている貧困や飢餓といった社会問題は、途上国だけの問題ではなく、先進国に生きるわれわれの行動が影響を及ぼし、引き起こしている問題であるということ」という認識を得た。それはすなわち、「われわれ一人ひとりが、現在グローバリゼーションが引き起こしている問題の〈ステークホルダー〉であること」を意味している。この点を、この点について書かれた英文テキスト（配布プリント Worksheet(4) 参照）を読解することで再確認させる。

この認識を土台とし、国際協力・国際親善という観点から、自身のこれからとるべき行動や姿勢を具体的に考え、英文にまとめさせる。その際、教科書で学習したパラグラフ・ライティングの基本的なフォーマットを復習する。とくに

- 1) 主題文・指示文・結論文からなるパラグラフ構成を理解して書くこと
- 2) 列挙・順序・対比・類似・例示・追加・原因・理由・結果などを表すさまざまな Discourse Marker を使って書くこと の 2 点に注意し、評価対象とする。

8. 各時の展開 :

第1時	目標	1) 協働による課題解決のための技能の伸張 2) 交渉の場面での英語力の強化		
過程	時間	指導内容	生徒の活動・応答	備考※
ウォームアップ	5分	(前時の復習) Expression sheet を用いて表現の確認	ALTに続いて意味を確認しながら発音練習をする	S
準備	10分	ルールと注意事項の説明 (Worksheet(1)参照) Vocabulary sheet Stage 1 で確認	Worksheet(1)を読んで理解する どの場面で英語を使わなければならないのかを確認する	L
展開①	15分	貿易ゲームの開始 授業者（リーダー）は教室内を巡回し、不正が行われていないかをチェックする		S/L
展開②	15分	仕掛けの投入 ① 〈製品〉の価格の変動 ② グループ G / H への援助 ③ 紙を追加 ④ 〈製品〉の新しい型（規格）を導入する	(様々な動きが想定される) 例) 他のグループで作業する グループ同士の協力 他のグループに併合 特定のグループによる紙や道具の囲い込み	
まとめ	5分	結果の集計・片付け Worksheet(2)を配布	ゲームのまとめを書く	W

※4 技能のどれが中心的になる活動かを示す (R:reading / L:listening / W:writing / S:speaking)

第2時	目標	貿易ゲームの〈経験〉を、机上の〈知識・情報〉に自ら主体的に結びつけ、グローバリゼーションが引き起こしている諸問題を <u>実感として理解すること</u>		
過程	時間	指導内容	生徒の活動・応答	備考
前時のまとめ	10分	(前時の復習) 各グループ結果の集計 Worksheet(2)	自分たちと他のグループの結果を比較し、原因を考える	L/S
考察①	15分	ゲームの設定について 1) 南北格差 2) 自由貿易	ゲームで用いた道具や設定が現実世界の何に対応しているかを確認する (Worksheet(2)に個人で書く／グループ・ディスカッション)	W/L/S
考察②	15分	ゲームの中で生じた現象について 1) 〈製品〉の価格の変動に伴う対応 2) 他のグループで作業する生徒 3) グループ同士の協力で製品を作る 4) 他のグループに併合される 5) 特定のグループによる紙や道具の囲い込み	プランテーション／「出稼ぎ」労働／国際分業／植民地／テロと貧困の関係、などグローバル化する世界で起こる問題を実感を伴って理解する	L/S

		<p>い込み</p> <p>などの現象がおきていたかを確認。それぞれ、どのような問題を含意しているのかを考察させる。</p> <p>その他、産業廃棄物問題など環境保護の観点にも留意させる。</p>		
まとめ	10分	Vocabulary sheet Stage 2 で確認 Worksheet(2)を集める	内容に関連する重要語彙をシートで確認し、英語での発信のための基礎を作る	S

第3時	目標	自由でかつ「公正な」世界はどのように実現可能か 自由でかつ「公正な」世界が持続可能なものとなるための条件とは何かについて考察する		
過程	時間	指導内容	生徒の活動・応答	備考
前時のまとめ	10分	(前時の復習) Vocabulary sheet Stage 2 で確認 Worksheet(2)を返却してふりかえり	語彙確認を通じて、前時の議論を思い出す	L/S
考察③	10分	「2回目の貿易ゲームをするとすれば…」という仮定で議論する 「自分たちのグループができるだけ多く稼ぐこと」という目標設定を「世界全体としてできるだけ多くを稼ぐ」に変えたらどうなるか、を考えさせる	Worksheet(2)の最後の設問をもう一度書き直し、グループで議論する (※適宜 Weblio など各種の辞書で語彙を確認する)	W/L/S
考察④	25分	ロールズ『正義論』について Worksheet(3)の読解	Worksheet(3)を読解し、設問に答える 「自由でかつ『公正な』世界はどのように実現可能か」について考察する	R
考察⑤	5分	環境問題について再び問い合わせる		L

第4時	目標	自身のこれからとるべき行動や姿勢について考えをまとめ英文で表現する		
過程	時間	指導内容	生徒の活動・応答	備考
前時の統き	20分	(前時の復習) 環境問題について問い合わせ、持続可能性について考える Worksheet(4)の読解 SDGsについての復習	自由でかつ「公正な」世界が持続可能なものとなるための条件とは何かを考察する	R
活動	25分	国際協力・国際親善の観点で、自身の考えを 300 words 程度の英文で書かせる	パラグラフ・ライティングの基本的なフォーマットの復習	W
まとめ	5分	Worksheet(3)の回収 Writing sheet の回収		W

9. 評価 :

- 1) Worksheet(2), (3)の記述内容
- 2) Writing sheet に関しては、内容面について評価するのではなく、生徒の書いた英語そのものに
関して、以下の観点で 5 段階評価をつけ、フィードバックのコメントとともに返却する
 - a) パラグラフの展開方法 Organization
 - b) 文法・語法・綴り Grammar / Usage / Spelling
 - c) 内容の一貫性 Coherence / Cohesion
 - d) 分量・句読点・字下げ Volume, Punctuation

10. 教材・教具 :

- ・Weblio 英和・和英辞典 <https://ejje.weblio.jp>
- ・The Trading Game Worksheet (1) ~ (4)
- ・Expression sheet
- ・Vocabulary sheet Stage 1,2
- ・Writing sheet

11. 参考文献等 :

国際貿易に関する英文テキスト（原典）授業プリントは一部改変している。

https://en.wikipedia.org/wiki/International_trade

（2018年1月7日）

ジョン・ロールズ『正義論』についての解説英文テキスト（原典）授業プリントは一部改変している。

<https://www.enotes.com/topics/theory-justice>

（2018年1月10日）

国際連合広報センター「持続可能な開発目標」

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

（2018年1月10日）

開発教育学会・かながわ国際交流財団（2006）『改訂版 新・貿易ゲーム—経済のグローバル化を考える』

大澤真幸（2015）『自由という牢獄—責任・公共性・資本主義』岩波書店

ロールズ、ジョン（2010）『正義論 改訂版』（川本隆史・福間聰・神島裕子訳）紀伊国屋書店

苦野一徳（2014）『「自由」はいかに可能か—社会構想のための哲学』NHKブックス

Year	2017	Grade	2 nd	Date	2018/01/24	Class	2-1	Worksheet (1)
Subject	Global English II			Class	No.	Name:		
Material	The Trading Game			Group				

Trading Game

A team building workshop that simulates the negotiating activities that may need to take place between different departments, organizations, or countries in a highly interconnected and interdependent GLOBAL ECONOMY.

Basic Aims:

- To develop collaborative problem solving skills
- To improve negotiating skills
- To recognize the need to take a long-term view of partnership relationships

Game Objective:

- The objective of each group is to **make as much money for itself as possible** by using the materials given to it.
- No other materials can be used. Money is made by manufacturing paper shapes.
- The goods you are going to manufacture are the shapes shown on the 'Diagram of Shapes'.
- Each shape has its own value as shown on the Diagram and these are given to the banker for checking and crediting to your bank account.
- You can manufacture as many shapes as you like – the more you make the wealthier you will be.

The Rules:

There are just five simple rules:

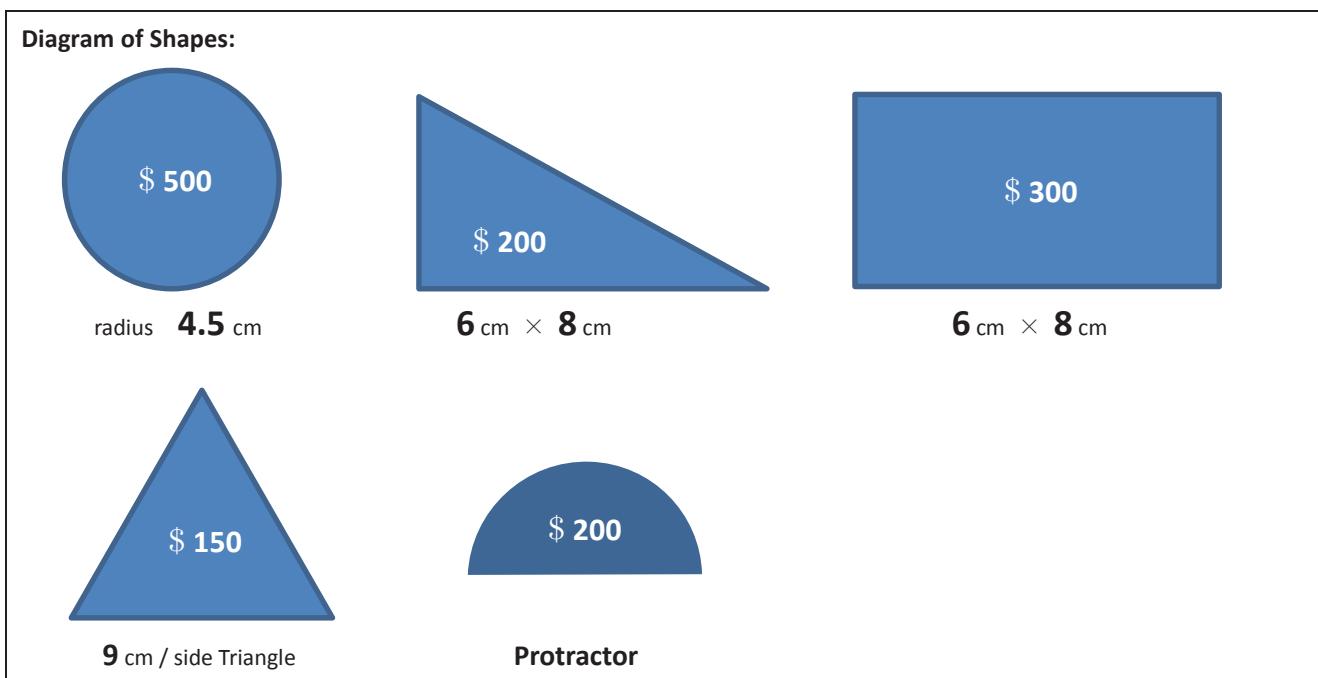
1. All the shapes need to be cut with clean sharp edges using scissors and must be of the exact size shown – the shapes are taken to the Banker for your account.
2. You can only use the materials that have been given out.
3. There is to be no physical force used during the game.
4. The leader represents the United Nations and will intervene in any disagreements.
5. ★ Students have to speak English when you want to talk with members of the other groups or with the Banker at the market. English is a lingua franca.

Procedure:

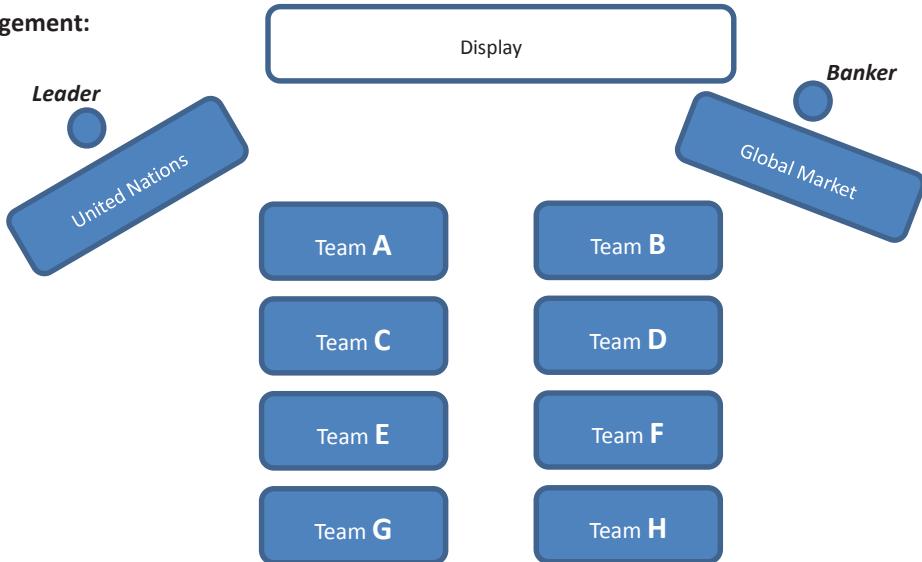
- All the players need to be able to see the 'Diagram of Shapes' during the game (so this needs to be copied on to a blackboard or made into a poster for display.)
- The furniture of the room needs to be arranged so that there are eight areas for the groups to work from: each area should have a flat working surface.
- You need two organizers / facilitators per game: one to act as a **Banker** and one to act as a **Leader**. The Leader's role is to keep control of the entire game, taking note of how it develops and occasionally changing the game's direction by introducing new elements into it. The Leader must be ready to lead the discussion at the end of

the game. (For this it is useful to jot down anything interesting or significant that the players have said or done during the game.)

- The Banker requires a pen and a sheet of paper with eight columns – one for each of the eight groups.
- Split the players into eight groups, allocate each group an area in the room and then give each group a set of materials as indicated.
- Read out the objective and rules of the game to the players.
- The manufacturing and trading should continue for about 30-45 minutes (depending on the size and interest of the group).
- When you call time to stop manufacturing, let the dust settle and host a plenary discussion while the banker counts the final scores.



Arrangement:



Year	2017	Grade	2 nd	Date	2018/01/24	Class	2-1	Worksheet (2)
Subject	Global English II			Class	No.	Name:		
Material	The Trading Game			Group				

Review of the Trading Game

<Basic Information>

Q 1. What is inside your envelope?

Item	Number	What does this refer to?

Item	Number	What does this refer to?

Q 2. Did you understand the rule of the game?

<How did you feel?>

Q 1. Was it interesting / fun to you?

Q 2. What did you find the most challenging?

Q 3. Were there any emotional responses in the room (yours or otherwise) that surprised you?

Q 4. What strategy brought you the most success and why?

Q 5. What would you do differently if you had your time again?

Year	2017	Grade	2 nd	Date	2018/01/24	Class	2-1	Worksheet (3)
Subject	Global English II			Class No.	Name:			
Material	The Trading Game			Group				

For Further Study

Q. What if the objective of this trading game is for the entire world to make as much money as possible by using all the given resources, not for each group? What strategy would be effective?

Your Opinion:

Your Group's Opinion:

Summary of *A Theory of Justice* by John Rawls

John Rawls, a philosopher at Harvard University, published several books and many articles. He is chiefly known, however, for his book *A Theory of Justice*, an effort to define social justice. The work has greatly influenced modern political thought.

Rawls was dissatisfied with the traditional philosophical arguments about what makes a social institution just and about what justifies political or social actions and policies. **(1)The utilitarian argument** holds that societies should pursue the greatest good for the greatest number. This argument has a number of problems, including, especially, that it seems to be consistent with the idea of the tyranny of majorities over minorities. **(2)The intuitionist argument** holds that humans intuit what is right or wrong by some innate moral sense. This is also problematic because it simply explains away justice by saying that people “know it when they see it,” and it fails to deal with the many conflicting human intuitions.

(1)The utilitarian argument

(2)The intuitionist argument

Rawls attempts to establish a reasoned account of social justice through the social contract approach. Rawls asks, “What kind of arrangement would everyone agree to?”

Rawls begins his work with the idea of justice as fairness. He identifies justice as the first virtue of social institutions. He considers justice a matter of the organization and internal divisions of a society. The main idea of a theory of justice asks, “What kind of organization of society would rational persons choose if they were in an initial position of independence and equality and were setting up a system of cooperation?” This is what Rawls sees as a hypothetical original position: the state in which no one knows what place he or she would occupy in the society to be created.

He called this statement the veil of ignorance.

the veil of ignorance

After considering the main characteristics of justice as fairness, Rawls looks at the principles of justice. He identifies two principles: **One** is that each person should have equal rights to the most extensive liberties consistent with other people enjoying the same liberties; and **the other** is that inequalities should be arranged so that they would be to everyone's advantage and arranged so that no one person would be blocked from occupying any position. From these two principles Rawls derives an egalitarian conception of justice that would allow the inequality of conditions implied by equality of opportunity but would also give more attention to those born with fewer assets and into less favorable social positions.

Rawls' two principles of justice

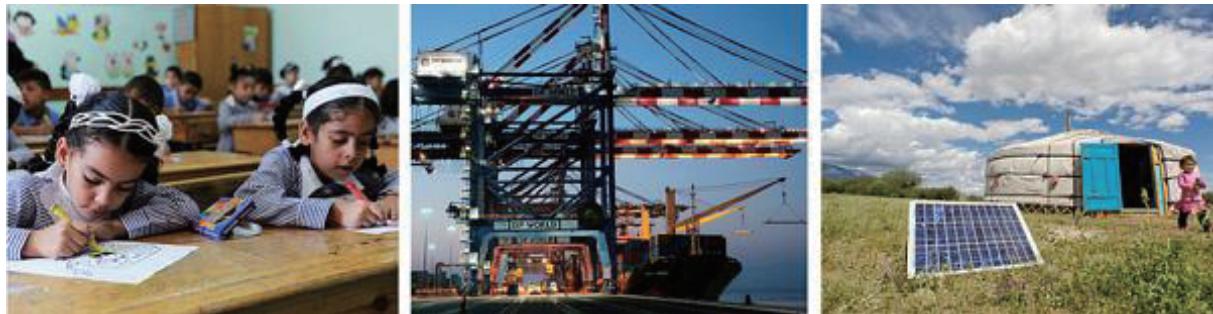
1)

2)

Year	2017	Grade	2 nd	Date	2018/01/24	Class	2-1	Worksheet (4)
Subject	Global English II			Class No.	Name:			
Material	The Trading Game			Group				



Three Dimensions of Sustainable Development



Sustainable development calls for concerted efforts towards building an inclusive, sustainable and resilient future for people and planet.

For sustainable development to be achieved, it is crucial to harmonize three core elements: economic growth, social inclusion and environmental protection. These elements are interconnected and all are crucial for the well-being of individuals and societies.

Eradicating poverty in all its forms and dimensions is an indispensable requirement for sustainable development. To this end, there must be promotion of sustainable, inclusive and equitable economic growth, creating greater opportunities for all, reducing inequalities, raising basic living standards, fostering equitable social development and inclusion, and promoting integrated and sustainable management of natural resources and ecosystems.

The 2030 Agenda for Sustainable Development will spur actions by governments, the private sector, civil society and other stakeholders to end poverty and build a more sustainable world over the next 15 years for all people.

The Sustainable Development Goals and targets are global in nature and universally applicable, taking into account different national realities, capacities and levels of development and respecting national policies and priorities.

- These goals are not independent from each other—they need to be implemented in an integrated manner.
- There are interlinkages between all the goals. You can't have zero hunger without tackling climate change or ensuring there is peace.
- You can't have gender equality if education is not provided to all.

(quoted from *Transforming Our World:2030 Agenda for Sustainable Development* by the Department of Public Information, United Nations)

Ex-1. In my view, that is not a good choice.

自分の意見を言う	私としては～と思います 私の考え方[意見]では ～と一般に認められています	Personally, I think [believe / feel] ... In my view [opinion] From my point of view It is generally agreed [accepted] that ...
----------	---	---

Ex-2. Could you lend me this, please?

依頼をする	～してください ～してくれませんか[～していただけませんか] ～していただけるとありがたいのですが お願いがあるのですが	Please ... I'd like you to V Will [Would] you ...? Can [Could] you ...? I'd appreciate it if you could [would] ... I'd be (very) grateful if you could [would] ... I wonder [was wondering] if you could Do [Would] you mind Ving? Can [Could] I ask you to V...? I'd be happy if you could [would] ... Can I ask (you) a favor? Will [Could] you do me a favor?
-------	---	---

Ex-3. Let's do this; you will do it and I will pay for it.

仮定の話をする	～と仮定してみよう もし～ならどうだろうか もし～でなければ ～するといけないので／に備えて	Let us suppose [imagine] (that) ... What if ...? unless ... in case ...
---------	---	--

Ex-4. Why don't we do the work together?

相手を勧誘する	～しませんか ～するはどうですか ～しませんか ～するのがいいと思うのですが やってみてもいいのではないかなあ	Would you like to V? Why don't you V? How [What] about Ving? What do you say to Ving? Shall we ...? / Let's ... (, shall we?) Why don't we V? Would [Wouldn't] it be a good idea to V ...? I'd like to suggest [propose] (that) we (should) V ... We may [might] as well ...
---------	---	--

Ex-5. Why don't you give it a try?

提案する	～してはどうですか ～するほうがいいと思います ～することをすすめます 私があなたなら～するでしょう ～しましょうか ～しましょう[～させてください] ～するために私ができることはありますか 喜んで～します ～してもいいですよ	Why don't you ...? / Why not ...? How about Ving? It would be better (for you) to V I suggest that you ... I think (that) you should ... I would recommend doing [that ...] If I were you, I would ... Shall I ...? Let me ... Is there anything I can do to V ...? What can I do to V ...? I'm (perfectly, quite) willing to V I'm (quite) prepared to V I would be happy to V I don't mind Ving
------	---	---

Ex-6. I agree with you.

相手の意見に同調する	(まったく)そのとおりです ～に賛成です ～に同意します まったく同意見です 私もそう思います	That's right. That's (certainly) true. You're (quite) right. I'm for ... I'm in favor of ... I approve of ... I agree (that) ... I support ... I (entirely) agree (with you). I couldn't agree more. That's my (own) opinion exactly. That's what I was thinking. I think so, too.
------------	---	--

Ex-7. I'm afraid I can't agree with you.

相手の意見に反対する	そうは思いません ～に反対です するのによくありません には同意できません には(あまり)満足していません	I don't think so. I don't think that's true. I'm against ... I oppose [am opposed to] ... I object to ... I think it's wrong to V... I don't agree with ... I (entirely) disagree with ... I'm afraid I can't agree with ... I'm not (very) happy about [pleased with] ...
------------	---	---

Ex-8. I wish I could, but it's impossible.

申し出を断る	申し訳ないですが、できません そうしたいと思うのですが～ 残念ながら	I'm sorry, (but) I can't. I'm afraid I can't. I'm not sure I can. I'd like [love] to, but ... I wish I could, but ... unfortunately
--------	--	--

Ex-9. In a word, we are short of money.

話をまとめる	(別の言葉で)言いかえると つまり すなわち 私が言おうとしているのは～ 要約すると 要するに 一言で言うと 概して 要点は～です	in other words that is (to say) namely What I mean is ... What I'm trying to say is ... to sum up in summary [sum] to summarize in short [brief] in a word on the whole [as a whole] The point is that ...
--------	---	---

Vocabulary

Vocabulary